令和6年度
事業報告

第１号議案

1. 令和6年度事業報告

1.1 議事・顕彰・講演会・親睦

1.1.1 総会

(1) 第82回定時総会

令和6年5月24日（金）13：00～13：35

於：明治記念館１階「末広の間」

出席者構成総数　65社

本人出席　32社

委任状　20社

出席率　80％

①第1号議案　令和5年度事業報告及び決算報告承認の件

②第2号議案　令和6年度事業計画案及び予算案審議の件

③第3号議案　役員選任の件（報告）

④第4号議案　入会規定の件（報告）

(2) 特別功労者感謝状贈呈式及び第49回試験機事業功労者表彰式

令和6年5月24日（金）14：00～14：30

於：明治記念館　千歳の間（東館1階）

①特別功労者

源田	英滋	神栄テクノロジー株式会社

②第49回試験機事業功労者表彰式

受賞者：11社　16名

試験機事業功労表彰者（敬称略・五十音順）

青木	誠也	株式会社島津アクセス
上野	賢太	株式会社島津製作所
金子	真也	株式会社第一科学
小林	敏夫	エミック株式会社
小針	祥文	株式会社第一科学
齊藤	武志	株式会社東京衡機試験機
櫻井	克彦	株式会社島津製作所
高原	正博	株式会社東洋精機製作所
中村	勝彦	ＩＭＶ株式会社
廣部	政之	株式会社島津アクセス
福士	智文	株式会社昭和測器
藤田	尊久	スガ試験機株式会社
古澤	達哉	株式会社東京衡機試験機
三森	春佳	スガ試験機株式会社
宮崎	智己	エスペック株式会社
山下	貢平	株式会社ミツトヨ

(3) 講演会

令和6年5月24日（金）14：40～16：10

於：明治記念館　1F「芙蓉の間」

講師：山口 建 氏：静岡県立静岡がんセンター 名誉総長
タイトル：医療田園都市構想 ～超高齢社会の理想郷を目指して～
静岡県は、医療健康産業の活性化を目的としたファルマバレープロジェクトの一環として、「超高齢社会の理想郷」を目指す「医療田園都市構想」を策定した。静岡県東部12市町とともに取り組む本構想の概要を紹介する。

(4) 定例懇親会
令和6年5月24日（金）16：30～18：30
於：明治記念館　1F 「鳳凰の間」
参加者数：79名（会員74名　講演会講師、経産省2名、招待、顧問）事務局2名除く

1.1.2 令和6年度新年賀詞交歓会
開催日：令和7年1月17日（金）15：00～17：00
於：フォレストテラス明治神宮　2階「欅の間」
参加者：72名（会員64名、経産省3名、取引先2名、招待者2, 優待者1名）事務局2名除く

1.2 組織と人事

1.2.1 役員（敬称略・名簿順）

（令和6年5月24日　第82回定時総会で確認）

会　長	石田　雅昭	エスペック㈱　代表取締役会長
副会長	小嶋　淳平	ＩＭＶ㈱　代表取締役社長
	野村　篤史	新東科学㈱　代表取締役社長
	上野　正男	㈱東京衡機試験機　代表取締役社長
専務理事	冨士原正義	（一社）日本試験機工業会
理　事	関川　　博	㈱いすゞ製作所　代表取締役社長
	森　　淳	インストロン ジャパン カンパニイリミテッド　代表者　社長
	内田　愼哉	㈱大西熱学　技術顧問
	川﨑　健史	㈱島津製作所　分析計測事業部　試験機ビジネスユニット ビジネスユニット長
	名取　悦二	スガ試験機㈱　取締役　製造本部　本部長
	太田　好則	㈱東洋精機製作所　代表取締役社長
	前川徳太郎	㈱前川試験機製作所　代表取締役社長
	山口　誉晃	㈱ミツトヨ　グローバルマーケティング本部 商品戦略部 形状・試験機課 課長
監　事	井下　芳雄	エミック㈱　技術顧問
	尾崎　達也	㈱井谷衡機製作所　取締役会長
相談役	岡崎　由雄	㈱東京衡機　特別顧問

1.2.2 委員会委員長

令和6年5月24日

企画委員会	小嶋　淳平	ＩＭＶ㈱　代表取締役社長
総務委員会	上野　正男	㈱東京衡機試験機　代表取締役社長
材料試験技術委員会	松本　　大	㈱フューチュアテック　取締役国内営業部長 兼　営業技術部長
環境装置技術委員会	田中　浩和	エスペック㈱　技術開発部　部長

展示会・セミナー委員会　野村　篤史　新東科学㈱　代表取締役社長
広報委員会　川﨑　健史　㈱島津製作所　分析計測事業部　試験機ビジネスユニット　ビジネスユニット長

1.2.3　会員状況

(1) 入会

株式会社 フェローテックマテリアルテクノロジーズ（第Ⅱ類正会員）
令和6年7月1日（第368回理事会承認）

(2) 退会

なし

(3) 令和7年5月23日現在の会員状況

第Ⅰ類正会員　50社
第Ⅱ類正会員　16社
賛助会員　6社　計72社

1.3　委員会・分科会事業報告

1.3.1　企画委員会

(1)「次世代経営研修会」を開催（2回／年）

・第7回開催

開 始 日：令和6年6月4日（火）12：30～17:00
場　　所：アーバンネット神田カンファレンス2B　参加者：14名参加
講　　師：㈱大塚商会　清水 詠 氏
主な研修内容
「解くべき課題と創出価値を考える」
5つのアプローチから問題を定義／ 顧客セグメントからJobを特定／• Pain/Gain分析から創出価値とカスタマサクセスを定義／ プロトタイピング計画

・第8回開催

令和4年11月17日に初回を開催し丸２年を掛けて研修会を実施した。また、最終回は㈱島津製作所様ショールーム見学会も同時に開催した。
開 始 日：令和6年9月3日（水）11：00～17:00
場　　所：株式会社 島津製作所　本社・三条工場　参加者：14名参加
講　　師：㈱大塚商会　清水 詠 氏
主な研修内容
ビジネスモデルと期待効果を考える／ 戦略コンセプトを設定し、そのコンセプトの妥当性を確認する／戦略コンセプトに基づく実践の道筋を考える／各社／各自の行動宣言を共有する。

(2) クラウドネットワーク活用研究会

・第1回研究会（8月20日）

製造業が抱える課題とクラウド活用による課題解消への期待と製造業（試験機業界）におけるクラウド活用に関してと、他社、他業界のクラウド活用の取組みについてIMV㈱様より説明があった。その後ディスカッションを実施した。

・第2回研究会（11月18日）

実際の開発で苦労した内容の発表とセキュリティーについてIMV㈱様より説明があった。その後、研究会参加者より各社のクラウド、ネットワークの取り組み

について説明があった。

(3) 施設見学会

開 始 日：令和6年11月20日(水) 14：00～16:20

場　　所：防衛装備庁　航空装備研究所(東京都立川市)　　参加者：30名

・航空装備研究所の役割等の説明

・戦闘用ジェットエンジンの開発の歴史

・風洞試験について見学会終了後交流会を実施した。

(4) 出版本の販売状況(現場で役立つ材料試験 環境試験)

・発 行 日：令和6年3月27日(水)

・発行部数：1,200部

・販売冊数[2025年3月末現在](日試工：673冊、市場販売：137冊)計810冊

1.3.2　総務委員会

(1) 第82回定時総会の開催(定時総会資料の作成)

令和6年5月24日(金) 13：00～18：30　　場所：明治記念館

(2) 令和6年度 賀詞交歓会開催

令和7年1月17日(金) 15：00～17：00　場所：フォレストテラス明治神宮　2階「欅の間」

(3) 日本試験機工業会会員の年間市場情報の収集と集計(2023年の販売額は前年15.1%増加)

(4) 予算管理と会計報告

(5) 研修会の開催

・第17回材料試験・環境試験基礎研修会開催

開催日時：令和6年7月11日(木)　10：30～16：30

開催場所：アーバンネット神田カンファレンス　3B+3C

参 加 者：15社　55名参加

・第9回「ヒューマンスキルセミナー」開催(自己成長のためのモチベーション研修)

開催日時：令和6年10月25日(金)　10：30～19：00

参 加 者：12社42名

開催場所：アーバンネット神田カンファレンス　3B+3C

講　　師：㈱大塚商会　メイン講師　濱中 弥生 氏　ザブ講師　長嶋 純子 氏

研修内容：仕事において困難な状況が発生しても、柔軟に対応できるよう、どのようにモチベーションを維持、向上するか、また周囲に広めていくかを考えます。講義、演習を通してモチベーションについて論理的に理解し、自分自身でモチベーションコントロールができ、自己成長に繋げられるよう、その知識とスキルを習得します。

1.3.3　材料試験技術委員会

・材料試験技術委員会実施：年4回実施(正副委員長及び分科会長)

・国際会議：ISO/TC164つくば市で開催　当工業会関係者は7名が参加した。

開催日程：令和6年9月16日(月)～20日(金)

・日本鉄鋼連盟　第三者委員会に参画

・第17回材料試験・環境試験基礎研修会の講師担当

・広報誌「TEST」材料試験分野執筆

(1) 静的強度試験分科会

・静的強度試験分科会を開催(1回)　ISO 376及びISO 7500-1にかかる改正諸提案への対応

・国際会議：ISO/TC164つくば市で開催へ2名参加
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会の講師担当

(2) 硬さ試験分科会
・硬さ試験分科会を開催(4回)：JIS規格の改正事前準備分科会を開催
「JIS案作成事業契約」後、初めての公募を実施した。
JIS B 7726「ロックウェル硬さ試験 － 試験機の検証及び校正」
JIS B 7730「ロックウェル硬さ試験機 － 基準片の校正」
この2規格を「2025区分A：応募期限2024年11月15日」に公募し改正作業を開始
・機械試験分野「F0201」分科会へ参加
・国際会議：ISO/TC164つくば市で開催へ3名参加
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会の講師担当
・広報誌「TEST」硬さ試験分野の執筆
・硬さ標準トレーサビリティ研究会との連携(3回実施)・第24回力学量標準トレーサビリティ・ワークショップでの発表

(3) 疲れ・靭性試験分科会
・JIS B 7755(金属材料のシャルピーVノッチ衝撃試験－計装化シャルピー衝撃試験機)を原案作成し日本規格協会へ納品した。
・国際会議：ISO/TC164つくば市開催へ2名参加
・材料学会高温強度部門委員会/疲労部門委員会との連携強化を継続
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会の講師担当

(4) 校正分科会
・第21回及び第22回の校正分科会を開催し、技術委員会の発足と「品質方針」のレビュー
・技能試験を実施(力計の校正に係わる試験所間比較による技能試験を実施)
技能試験実施に当たり技術委員会を発足(3回実施)
JTM-F005　力区分：力計　JIS B 7728による方法(参加11事業者)
・第24回力学量標準トレーサビリティ・ワークショップの実施(詳細は1.5項)
・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)との情報交換　IAJapan／JCSSの現状と課題について説明があった。

1.3.4　環境装置技術委員会
・環境装置技術委員会：年4回実施(正副委員長及び分科会長)
・展示会・セミナー委員会と共同し名古屋市で「信頼性評価セミナー」を実施　参加者52名
・広報誌「TEST」環境試験分野の執筆
・JTM規格質問への都度対応を実施
・IEC/TC104国内委員会及びJIS素案作成委員会への参加
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会の講師担当
・公益社団法人日本冷凍空調学会が主催する「R23代替冷媒に関する調査研究」に4回参加
・環境試験用語集(共通、気象、機械、衝撃、腐食、耐候性)をホームページに公開した。

(1) 機械環境分科会
・振動、衝撃に関する用語集の作成
・ISO TC108/SC 6「機械振動と衝撃」の国際規格提案への対応
・IEC/TC104(環境条件とその分類及び試験方法専門委員会)国内委員会及びJIS素案作成委員会への参加
・広報誌「TEST」振動・衝撃試験分野の執筆

・第17回材料試験・環境試験基礎研修会の講師担当

(2) 気象環境分科会

・IEC/TC104(環境条件とその分類及び試験方法専門委員会)国内委員会及びJIS素案作成委員会への参加
・JTM K 08の見直し確認を実施
・気象環境に関する用語集の作成
・広報誌「TEST」気象環境試験分野の執筆
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会での講師担当

(3) 腐食環境分科会

・塩水噴霧、ガス腐食に関する用語集の作成
・広報誌「TEST」腐食環境試験分野の執筆
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会での講師担当

(4) 耐候(光)性分科会

・耐候性試験に関する用語集の作成
・JTM-G 01(メタルハライドランプ方式試験機)規格の改正2024年7月1日発行
・広報誌「TEST」耐候性環境試験分野の執筆
・第17回材料試験・環境試験基礎研修会での講師担当

1.3.5 展示会・セミナー委員会

・第18回総合試験機器展「TEST 2025」実行委員会を6月に設立し周知活動の強化を実施
会期：令和7年9月10日～12日
会場：東京ビックサイト　西ホール
(1.4.1項 委員会活動報告詳細を参照)

・JTM信頼性評価セミナーの開催
テーマ：[先端半導体および自動運転の技術動向と環境試験]
日時：令和6年11月14日(木)　　場所：ホテル メルパルク名古屋
(詳細は1.4.2項を参照)

1.3.6 広報委員会

(1) 広報誌分科会

・広報誌「TEST」4回発行　4月　7月　9月　1月
Vol.71　カーボンニュートラル実現の為には？ ～次世代の太陽光発電システム～
Vol.72　信頼性評価試験のシミュレーション技術
Vol.73　硬質膜の技術と評価
Vol.74　アルミニウムの新しい可能性
・令和6年10月18日(金)愛媛県産業技術研究所見学

(2) ホームページ分科会

ホームページの定期的な見直しとタイムリーな更新による各種情報の掲載
役員名簿／会員一覧／規格一覧表／イベントページ／技術委員会情報(活動計画・議事録・技術資料)の掲載／その他

1.3.7 時限立法特別対応

(1) 平成28年7月1日に施行された「中小企業等経営強化法」の「経営力向上設備等に関する税制措置制」のうち中小企業経営強化税制(A類型)を経済産業省の要請に対応し

実施している。「中小企業経営強化税制（A類型）は証明書の様式が変更になりました。
・令和7年4月1日～令和9年3月31日まで適用期限が2年間延長されました。

(2) 実績

・設備の種類：器具・備品
・設備の用途：試験・測定
・期間（器具備品）：(1) 令和5年4月1日～令和７年3月31日
・発行手数料：日本試験機工業会会員（1件につき1,000円）
非　会　員（1件につき4,000円）
・発 行 実 績：(平成29年4月1日～令和7年3月31日) 1,082件
・発 行 実 績：(令和6年4月1日～令和7年3月31日) 87件

1.4　委員会活動報告詳細

1.4.1　第18回総合試験機器展「TEST2025」実行委員会

総合本部長：石田　雅昭　エスペック㈱

TEST2025実行委員会（敬称略）

総合本部長	：	石田　雅昭　エスペック㈱
実行委員長	：	野村　篤史　新東科学㈱
副委員長	：	岩永　幸満　㈱島津製作所
		坂本　佳昭　エスペック㈱
委員	：	石橋　鉄平　ＩＭＶ㈱
		高杉　和佳　岩崎電気㈱
		大懸　康人　㈱大西熱学
		江黒　悠美　㈱東京衡機試験機
		加藤　雅信　㈱東洋精機製作所
		鈴木　尚志　㈱前川試験機製作所
		白井　太朗　㈱ミツトヨ
事務局	：	冨士原正義　（一社）日本試験機工業会

展示促進小委員会

主査	：	岩永　幸満　㈱島津製作所
副主査	：	坂本　佳昭　エスペック㈱
		大懸　康人　㈱大西熱学
		江黒　悠美　㈱東京衡機試験機
		鈴木　尚志　㈱前川試験機製作所

セミナー小委員会

主査	：	石橋　鉄平　ＩＭＶ㈱
副主査	：	白井　太朗　㈱ミツトヨ
		高杉　和佳　岩崎電気㈱
		加藤　雅信　㈱東洋精機製作所

1.4.2　JTM信頼性評価セミナーの開催

・テーマ：[先端半導体および自動運転の技術動向と環境試験]

日時：令和6年11月14日（木）　場所：ホテル メルパルク名古屋　3Fサルビアの間

招待講演1：「先端半導体の技術動向」

講師：大阪大学　フレキシブル3D実装協働研究所

[JEITA 先端半導体パッケージングWG 主査] 吉田 浩芳 氏

講演概要：最近の半導体は、「チップレット技術」の進化が著しい。チップレット技術の進化予測や、考えられる課題とその評価技術について、標準化の動向も交えて紹介された。

講演：「半導体パッケージおよび自動運転用センサー評価における環境試験」

講師：(一社) 日本試験機工業会　環境装置技術委員会　委員長
[エスペック (株)　事業開発部] 田中 浩和 氏
講演概要：先端半導体パッケージの熱応力や絶縁劣化課題などへ対応した信頼性試験技術の動向や、自動運転車に搭載されるカメラやセンサー評価のため各種気象環境を再現する環境試験技術について紹介された。

招待講演2：「自動運転／自動化技術とその評価における課題」
講師：同志社大学　理工学部　機械理工学科　准教授
[元　自動車技術総合機構　交通安全環境研究所] 中川 正夫 氏
講演概要：自動運転車の安全性評価について、国際連合における基準策定の議論に基づきその最新状況と課題について述べられた。また、自動運転に関する国際的な研究に関する情報提供や自動化技術の基礎的な研究の紹介も併せて紹介された。

1.4.3　第17回材料試験・環境試験基礎研修会

開催日時：令和6年7月11日(水)　10：30～16：30
開催場所：アーバンネット神田カンファレンス　3B+3C　参加者：15社　55名
研修内容及び講師は以下の通り

①硬さ試験	松本　大　氏	㈱フューチュアテック
②引張・圧縮試験	布施　寿則　氏	㈱島津製作所
③疲労試験	堀川　純　氏	㈱島津製作所
④高分子材料試験	臼井　俊昭　氏	㈱東洋精機製作所
⑤耐候 (光) 性試験	国広　恵子　氏	スガ試験機㈱
⑥気象環境試験	小寺　弘一　氏	エスペック㈱
⑦衝撃・落下試験	川口　和晃　氏	神栄テクノロジー㈱
⑧腐食環境試験	設楽　恭弘　氏	板橋理化工業㈱
⑨機械環境試験	井下　芳雄　氏	エミック㈱

1.5　力トレーサビリティ連絡会議及び硬さ標準トレーサビリティ研究会関連

(1) 第24回力学量標準トレーサビリティ・ワークショップ

開催日：6月7日 (金)　開催場所：オーバルホール (大阪)
参加者：178名 (前回横浜市：196名)
ｾｯｼｮﾝ1：実行委員会　第23回アンケート集計報告　　㈲大和精機　中野　隆　氏
ｾｯｼｮﾝ2：引張・圧縮試験
JIS B 7742：2023 材料試験機－速度の校正方法及び検証方法の紹介－
一般財団法人　日本品質保証機構関西試験センター　計量計測部 力学計測課　永井　康弘　氏
ｾｯｼｮﾝ3：校正　デジタル校正証明書 (DCC) の発行について
一般財団法人　日本品質保証機構　計量計測部門・事業開発室　黛　沙月　氏
特別講演：チタン合金高温酸化膜の耐剥離性に及ぼす表面及び合金化の影響
兵庫県立大学大学院 准教授　三浦　永理　氏
ｾｯｼｮﾝ4：質量　分析天秤の適正な管理のための最新動向
～Euramet　cg-18に伴う校正の有効性及び日本薬局方改正に伴う性能確認への対応～
メトラー・トレド株式会社　新里　剛志　氏
ｾｯｼｮﾝ5：力　一軸試験機に使用する力計の取り扱い方法

. 力トレーサビリティ連絡会議　一般社団法人　日本計量振興協会　増田　豊　氏
ｾｯｼｮﾝ6：硬さ　硬さ標準片から見た硬さ値の偏差
硬さ標準トレーサビリティ研究会　株式会社　アサヒ技研　高砂　和典　氏